

再婚について

島崎藤村

青空文庫

神坂も今は秋の収穫とりのいれでいそがしくもまた楽しい時と思います。

ことしの秋は、柳ちやんを連れて神坂みさかの土を踏みたいとは、かねてから楽しみにしていたことでしたが、いろいろの都合で十一月の初めはじごろに出かけることはちよつとむづかしくなりました。

さて、きょうは珍しい報告を送る思いでこのおたよりいたします。ことしの夏の初めあたりから、とうさんは自分の生活を変えようと思いつたからです。

今までのとうさんの生活が変則で、多少不自然であることは自分でも知っていましたが、おまえたちきょうだい兄あに妹いもうとを養育するためには、これもやむをえないことでした。長い年月の間とうさんの苦心は、おまえも思い見てくれることでしよう。だんだんおまえたちも大きくなり、順にひとりずつ独立するようになってみれば、とうさんがまったくのひとりになる日の来ることも目に見えています。それではとうさんも何かにつけて不自由であり、第一病気でもしたときに心細くもありますから、今のうちに自分の生活を変え、晩年になって不自由しないように今からそのしたくをしたいと思えます。

幸い加藤静子かとうさんはおまえもよく知っているとおおり、わが家へ長く通って来て気心もよ

くわかっていますから、川越のいさんとうさんから直接に交渉して、加藤さんをお願い受けることに話をまとめました。

このことはまだ親戚にも友人にもだれにも話してありません。おまえたちだけでは話して置きたいと思いつながら、さてそれが今日まで言い出せなかつたわけです。過去十幾年の間、とうさんひとりをたよりにしてきたようなおまえたちのことを思うと、どうしてもこの手紙が書けなかつたのです。

この話が川越の加藤大一郎さんとうさんとの間にまとまり先方の承諾を得たのは、ここの七月のころでした。大一郎さんはそのために一度東京へ出て来てくれました。いろいろ打ち合わせも順調に運び、わざとばかりの結納の品も記念に取りかわしました。もはや期日の打ち合わせをするほどにこの話は進んできています。とうさんのことです。から、いつさい簡素を旨とするつもりです。生活を変えろとは言つても、加藤さんに家へ来てもらつて、今までどおりに質素に暮らして行こうというだけのことです。

期日は十一月の三日ということに先方とも打ち合わせました。当日は星が岡の茶寮でも借り受け、先方の親戚二、三人と西丸さん、吉村さんとを招き、簡素な茶室で式を済ましたい考えです。楠ちゃんにも列席してもらいたいとは思いますが、遠方のことでもあり、

それに万事内輪にと思えますから、おまえたちきょうだい兄妹の総代として鶏ちゃんに出席してもらうことにします。

とうさんがこの新しい方針を選んで進もうとするのは、いろいろ前途を熟考した上での結果です。とうさんもこのまま老い朽ちてしまいたくないからです。何とか自分の生活を立て直し、適当な内助者を得て、今よりも自然に静かな晩年に達したいと思うからです。

この手紙はおまえばかりでなく、鶏ちゃんにも柳ちゃんにも読んでもらうつもりで書きました。いづれおう翁ちゃんにもこのことを報告しましょう。一体ならこの手紙はもつと早く書くべきでしたが、どうしてもその機会が見当たらなかったのです。おまえたちを驚かすのを恐れて、きょうまでその勇気が出なかつたのです。その点は許してください。

最初この話を加藤大一郎さんにしましたとき、それはとうさんのためにもよかろうと言っていたいへん喜んでくれました。おまえたちもそう思ってくれるならとうさんも幸いに思います。

何事も寛大に考えてください。おまえたちの力になろうとするととうさんの心が変わりはないのですから。

それから、とうさんが生活を変えと言ったら、事あれかしの新聞記者なぞにおおげさ大袈裟に

書き立てられても迷惑しますから、しばらくこの手紙の内容はおまえたちだけで承知して
いてください。友人にも世間の人たちにもおりを見てぽっぽっ知らせるつもりです。
きようは実に書きにくい手紙を書きました。

十月二十三日

父

楠雄

(書簡から)

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆31 婚」作品社

1985（昭和60）年5月25日第1刷発行

1986（昭和61）年6月30日第2刷発行

底本の親本：「人生論読本 第三卷 島崎藤村篇」角川書店

1960（昭和35）年9月

入力：土屋隆

校正：noriko saito

2007年7月23日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

再婚について

島崎藤村

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>